2005年度　3年生　　モジュール　2　　ユニット 6　　精神」 アチーブメントテスト
2006/3/4　実施

（注意事項）

「はじめ」と言われるまで、このページを開けてはいけません。

試験中は、試験監督の指示に従うこと。
　　不適切な行動と試験監督が判断した場合は、不正行為とみなします。

隣の人とは、できる限りの空席をあけ、また、前列の受験者のすぐ後に座りなさい。
試験中は、許可なく席を立ったり、移動することを禁止します。
解答用紙は、他の学生から見えないように配慮して、机の上におきなさい。
不自然な体勢、姿勢、しぐさをしないようにしなさい。
教科書、ノート、メモ類は、鞄の中に入れ、机の上には、筆記用具、時計、ティッシュ、
　　その他事前に認められたもの以外のものを置いてはいけません。
試験監督から、席の移動や持ち物の確認を求められた場合は、誠実に対応すること。
　　不誠実な対応と試験監督が判断した場合は、不正行為とみなします。
不正行為が認められた場合には、当該学生の受験を中止とします。
携帯電話の電源は切断しておきなさい。

開始後 30分経過して、試験監督が退出可とするまでは、退室してはいけません。
　　これは、遅刻者の入室を許可するための特別な措置であり、
　　最初の退室者が出た後は、遅刻者の入室および当該試験の受験は認められません。

Tutor評価等は、試験時間終了後に記入してもかまいません。

問題用紙（このページを含めて）	9 ページ	解答用と同じ）
別紙画像	ページ	
学生推薦用紙	1 ページ	
Tutor評価用紙	1 ページ	解答用紙から切り離して提出）

地雷アイコン：基礎的な知識を問う問題で、無回答や誤った場合、大きく減点される問題
禁忌アイコン：治療法などを問う問題で、患者にかえって危害を及ぼすような場合、大きく減点される問題

番号		氏名		点数		合・否

所属研究室が変わった場合、右へ	所属	

（所属研究室がない場合は、医学教育センターに相談にきてください）

Ⅰ 精神医学の基礎的事項について、以下の設問に答えなさい。

1 以下の文章のカッコ内にあてはまる単語を語群から選び、記号で答えなさい。
同じ選択肢を何度も使うなど、無節操な回答は地雷とします。

精神障害の成因は、身体因と心因とに分けられ、身体因はさらに内因と外因に分けられる。
内因とは、素質的な要因で、（① ）や（② ）のような、普通は明らかな外的要因なしに、
発病する疾患などで、遺伝素因が関係する比重が大きい内因精神病の内的要因のことである。
特に、（② ）は、循環気質と呼ばれる患者性格の特徴も指摘されている。
精神障害の発現には、単一の成因ではなく、複数の成因が関与することが多い。
主として、心因が関与する（③ ）でも、身体因（素因）が多少とも関与する場合があるなど、
（④ ）などの身体因による疾患でも心因が関与する場合があるといわれる。

語群　A:神経症性障害　B:統合失調症
C:双極性感情障害　D:器質性精神病

①（ ）　②（ ）　③（ ）　④（ ）

2 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

マクリーンは恒温動物の脳に3型のシステムから構成される階層性を考え、いわゆる
三位一体脳説(a hierarchy of three brains in one—a triune brain)と言われるもので、
原始爬虫類脳（protoreptilian brain）、旧哺乳類脳 (paleomammalian brain) と
新哺乳類脳（neomammalian brain）である。

① マクリーンが提唱した脳の3つの階層について、以下の部位がそれぞれ、どれにあてはまるか、
原始派虫類脳ならA, 旧哺乳類脳ならB, 新哺乳類脳ならC、をいれなさい。

(1) 大脳基底核（ ）
(2) 大脳皮質（ ）
(3) 歯状回（ ）
(4) 視床下部（ ）

② 以下の文章は、マクリーンの提唱した3つの脳階層の機能のどれを述べたものか、
原始派虫類脳ならA, 旧哺乳類脳ならB, 新哺乳類脳ならC、をいれなさい。

(1) この脳部位には情動の座があり、外界からの入力に対する反射による単純な働きを、
ある程度、柔軟に制御している。（ ）
(2) この脳部位は、原始的な学習や記憶に基づいた、型にはまった行動を現わす。
そして、この行動は個体維持と種族保存に基本的なものである。（ ）

3 ハーブによって精神的なリラックスをもたらしたり、特定の匂いをかぐと嫌な感情がわいたりと、
「匂いは、情動と深い関係がある」といわれている。
そのメカニズムの解剖学的な解説を試み、関係する脳の部位と連絡を図示しなさい。

Ⅱ 精神疾患の症状について、以下の設問に答えなさい。

1 精神科診察について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 精神科における最初の診察から治療が始まっている。 ( )
(2) 面接者は、内容とともに、患者の陳述の形式的側面をも観察する。 ( )
(3) 被面接者の表出は、言語、筋肉運動のほか
自律神経反応によっても行われる。 ( )
(4) 精神科面接においては、視診の意義はほとんどないとされる。 ( )

2 精神症状の捉え方について正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

(1) 肝機能障害でせん妄を呈している患者には、身体の治療よりも、まず、
第一に、精神療法により受容的に接する必要がある。 ( )
(2) 成人発症の甲状腺機能低下症では、抑うつ症状や心気症状を示しやすい。 ( )
(3) 脳炎の急性期においては、意識障害が認められ、傾眠、昏睡、せん妄など
を呈する。 ( )
(4) 症状性精神障害とは、精神障害によって身体症状を呈するときに、その基となる、
精神障害を指す概念である。 ( )

3 せん妄について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 急激な発症 ( )
(2) 意識の障害 ( )
(3) 浮動性と、睡眠ー覚醒リズムの変化 ( )
(4) 活発型、不活発型、混合型にわけられる。 ( )

4 解離性（転換性）障害の症状として誤っているのはどれか。 ( )

(1) 健忘 (2) 失神
(3) 離人症 (4) けいれん
(5) 多重人格

5 気分障害より統合失調症が疑われるのはどれか。 ( )

(1) 易刺激性 (2) 思考伝播
(3) 罪業妄想 (4) 強迫症状
(5) 失見当識

6 うつ病にみられる妄想内容として誤っているのはどれか。 ( )

(1) 貧困妄想 (2) 心気妄想
(3) 罪業妄想 (4) 憑依妄想

7 以下の中で関連の正しい組み合わせに○、誤っているものに×をいれなさい。

(1) うつ病 - 作為体験 ( )
(2) 躁病 - 観念奔逸 ( )
(3) 統合失調症 - 連合弛緩 ( )
(4) 緊張病症候群 - カタレプシー ( )

8 以下のTutor-Timeにおける友人Aの意見を読んで、設問に答えなさい。

> 友人A：妄想は、古典的には、まったく根拠を持たない妄想を一次妄想、何かしらの経験と関わりがある妄想を二次妄想と区別している。しかし、一次妄想と考えられる妄想にも本人なりの理由が存在している場合も多く、真の意味で根拠のない妄想はまれである。

① 一次妄想と二次妄想をわかりやすく説明するため、対比しやすいよう、それぞれ、
具体的な例を作成しなさい。

② 妄想は、友人Aの紹介した古典的な分類のほか、妄想の内容によって、それぞれ、分類され、名称がつけられている。以下の妄想について、その特徴を簡単に説明しなさい。

(1) 心気妄想

(2) 血統妄想

(3) 注察妄想

III 精神疾患について、以下の設問に答えなさい。

1 ナルコレプシーについて正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 症状は、日中の耐え難い眠気、睡眠麻痺、入眠時幻覚、自律神経発作である。 ( )
(2) 合併症として、高血圧、不整脈、突然死が多い。 ( )
(3) 診断には、アクチグラムが有用である。 ( )
(4) オレキシンニューロンの機能障害と関連があるとされる。 ( )

2 急性ストレス反応について、正しいものに○、誤っているものに×をいれなさい。

(1) 生死に関わるような心的外傷体験後、それに関わる症状が出現する。 ( )
(2) 症状が4週間を超えると、急性ストレス障害ではなく、PTSDと診断する。 ( )
(3) そのときのトラウマが繰り返しはっきりと思い返されたり、悪夢を見たりする。 ( )
(4) 心的障害（トラウマ）に関する出来事や関連する事柄を避けようとする。 ( )
(5) 神経が高ぶった状態が続き、不眠や不安などが強く現れる。 ( )

3 不安障害について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) パニック障害の経過では、抑うつを伴うことがある。 ( )
(2) 外傷後ストレス障害（PTSD）では、著しく脅威的、破局的なストレス状況に対して、数分以内に症状が発現することが多く、数ヶ月にわたって遷延する。 ( )
(3) 心気障害では、本人が予想する身体疾患を確証するために検査を求める傾向があるのに対し、身体化障害では症状を取り除くための治療を求める傾向があ ( )
(4) めまい感、嘔気、発汗、胸痛も、パニック発作の症状としてみられる。 ( )

4⚠ うつ病について、正しいものに○、誤っているものに×をいれなさい。

(1) 薬に対する依存・耐性を考え、症状改善後は速やかに薬の内服を中止すべきある。 ( )
(2) 急性期から積極的な気分転換を取り入れるべきである。 ( )
(3) 落ち込まないように、周囲からもしっかりと励ます必要がある。 ( )
(4) 休養が必要な場合は、速やかに手配をする。 ( )
(5) 再発率が高く、再発を繰り返すと、次第に再発率が上昇する傾向がある。 ( )

5 気分障害について、正しいものに○、誤っているものに×をいれなさい。

(1) うつ病では睡眠障害がみられるが、躁状態では睡眠障害はみられない。 ( )
(2) 気分障害の発病には、人格やストレス処理能力、環境の変化などの心因（状況因）などが重要であり、内因（素因）や身体因は関与・影響しない。 ( )
(3) 内因性うつ病には、日内変動がみられる場合があり、一般的に午後から夕方にかけて調子が悪くなる。 ( )
(4) 気分障害の治療法には、抗うつ剤による薬物療法、電気ショック療法のほか、非薬物療法として認知療法などがある。 ( )
(5) うつ病の中には、睡眠障害や食欲不振、その他自律神経症状が中心で、精神症状が隠されてしまい、目立たないものも存在する。 ( )

6 小児自閉症にみられるのはどれか。

(1) 新しい環境を好む ( )
(2) オウム返しの答えをする ( )
(3) 社会性をもった遊びを自ら想像して遊ぶ ( )
(4) 身振りで意思を伝える ( )
(5) 同年代の子供に関心がある ( )

7 Aspergar症候群で誤っているのはどれか。 ( )

(1) 男児に多い
(2) 言語発達は正常である
(3) 奇妙な動作がみられる
(4) 広汎性発達障害に分類される
(5) 対人関係の質的低下がみられる

8 以下は、パニック障害の症状の説明文である、その説明にあてはまる症状名を書きなさい。

(1) 過去の経験から、発作が起こりそうな場所や状況に不安を感じる。

(2) 発作が起こりそうな場所や状況を避けようとする。

(3) 「また発作が起こるのでは…」という不安が高まり、生活にも支障を来たすようになる。

9 パニック障害の症状の発現メカニズムについて、以下の単語を用いて説明しなさい。
（無回答や、あまりに低レベルな回答は地雷となります）

前頭葉　扁桃体　青斑核　大脳辺縁系

10 解離性障害について、設問に答えなさい。

① 「ヒステリー」と以前呼ばれていた病態は、新しい疾患分類では、「解離性障害」や「転換性障害」されることが多く、ヒステリーと呼ぶことは適切ではないとされている。
この、**精神医学における新しい疾患分類方法**はなんと呼ばれているか、適切な名称を答えなさい。（略語可）

② 解離とは何か、あなたの知っていることを説明しなさい。

Ⅳ 精神疾患の治療について、以下の設問に答えなさい。

1 精神科治療について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 精神療法も、薬物療法とともに、患者の自然回復力に依拠しつつ、精神機能に変化をもたらす。 (　　)

(2) 精神療法にも、副作用が認められる。 (　　)

(3) 電気けいれん療法は、躁病の興奮には著効するが、うつ病には不適である。 (　　)

(4) 心理療法で効果が実証されているのは、行動療法と認知行動療法である。 (　　)

2 疾患と治療の組み合わせで、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 睡眠時無呼吸症候群 - CPAP (持続陽圧呼吸法) (　　)

(2) REM睡眠行動障害 - ビタミンB12投与 (　　)

(3) 睡眠相後退症候群 - 高照度光療法 (　　)

(4) ナルコレプシー - 抗うつ薬 (　　)

3 正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。

(1) 精神保健指定医は、厚生労働大臣が指定する (　　)

(2) 精神保健福祉センターは、精神保健に関する広報普及を行う (　　)

(3) 精神保健福祉法の目的の1つに、犯罪の未然防止があげられる (　　)

(4) 精神障害者の通院医療費の一部を公費で負担する制度がある (　　)

(5) 精神保健福祉士は、精神障害者の自助努力支援のために相談・助言を行う (　　)

4 以下の文章にあてはまる適切な単語を書きなさい。

主な抗うつ薬は以前から、その化学構造から、(①)と、(②)の大きく2つの系統があった。
最初に開発されたものが、(①)で、我が国でも、長らく第一選択薬として広く使われた。
最近、新しい抗うつ薬が開発され、その頭文字をとって、SSRIと呼ばれているが、その主な薬理作用は、(③)の再取り込みだけ選択的に抑制するというものである。
また、最近では、(③)だけでなく、(④)の再取り込みも抑制するSNRIも開発された。

①

②

③

④

5 パニック障害の治療法である、認知行動療法の概要と、その効果のメカニズムについて、説明しなさい。

Ⅴ 以下の各症例を読んで、設問にこたえなさい。

1 46歳男性。3ヶ月ほど前に課長に昇進。その頃から、夜眠れなくなり、①**食欲低下**した。
仕事には集中できず、続けてやっていく自信がない。将来を悲観している。
特に、②**朝は気分が重くてすぐれず、夕方から、気持ちが軽くなる**という。
③**以前は好きだった釣りに行っても、気持ちは晴れない**という。
夜は寝付きが悪い上に、夜中に何度も目がさめ、朝は暗いうちから目が覚め、
眠れないままにふとんの中で過ごし、動作や頭の働きも、いつもよりゆっくりで、
④**いつもなら決断できることが、迷ってしまってなかなか決められない**という。
何をしていても気持ちが落着かないので、ため息をつきながら、立ったり、座ったり、
⑤**うろうろしたりと落着かなくなることもある**とのこと。
そして、⑥**色んな考えが浮かぶので、すぐに気が散り集中できない**という。
自分は今まで会社の役にも立ったことがないだめ人間だ、としか思えず、
自分は生きる価値のない人間だとさえ思い、⑦**死んだほうがよいと思う**とのこと。
妻が心配して外来へ連れてきた。

この患者の訴えは、すべて典型的で、そのほとんどが1つの範疇にあてはまるが、
ある1つの症状だけが、他の症状とはことなる範疇に属する。
それを文中の①～⑦の数字で答えなさい。 （ ）

2 28歳の男性。母親と来院した。会社員。生来健康で、入院等なし。
3年ほど前から、睡眠障害、食欲不振があり、やせてきた。2年ほど前、総合病院で
諸検査を受けたが、食欲不振・体重減少につながる異常は指摘されていない。
1年ほど前から、「独り言」が増え、同僚から気味悪がれ、また、仕事の能率が低下、
1ヶ月ほど前、上司から注意を受けた際、「うるさい」と返答し、問題となった。
本人の説明は、「会社で仕事をしていると、休みなさいと天皇陛下の命令がある」。
身長178センチ、体重62キロ。体温36.2℃、血圧120/80mmHg、脈拍72/分整。
内科医の身体診察で異常なし。尿検査、血液検査、生化学検査に異常なし。
本人は病識ないが、入院には同意したので、精神科に入院となった。
薬物療法を開始、次第に独り言も少なくなり、「天皇陛下も帰京し、命令はなくなった」
との発言もあり、改善がみられたと判断された。維持投薬を継続した。
入院47日目、急に発汗、39度の発熱、四肢の筋強剛を認めた.

① この患者の疾患の診断と治療について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。
(1) この患者の診断においては、まず、身体疾患を除外することが大切である。 （ ）
(2) この疾患の患者にみられる作業記憶の低下は、前頭葉機能障害による。 （ ）
(3) 新規抗精神病薬は、この疾患の患者の陰性症状を改善する効果がある。 （ ）
(4) 早期の薬物療法は、かえって、疾患の進行を悪化させる。 （ ）

② この患者にみられる症状のうち、陰性症状とされるものをあげなさい。

③ 以下に、抗精神病薬の薬理作用を列挙している。主に鎮静・抗妄想作用の薬理作用にA,
主に副作用を軽減する薬理作用にB, をいれなさい。
(1) 抗ヒスタミン作用 （ ）
(2) 抗セロトニン作用 （ ）
(3) 抗アドレナリン作用 （ ）
(4) 抗コリン作用 （ ）
(5) ドーパミン受容体遮断作用 （ ）

④ 以下の特徴にあてはまる抗精神病薬の薬品名を答えなさい。

(1) ブチロフェノン系抗精神病薬で、強力なドパミン受容体遮断作用を有する。

(2) フェノチアジン系抗精神病薬で、抗ヒスタミン作用（H1受容体遮断作用）も有する。

⑤ 抗精神病薬の副作用に、 遅発性ジスキネジア」と呼ばれる症状がある。
50文字程度で、簡単に説明しなさい。

⑥ 入院47日目の状態を診断するために特異的な検査を1つあげなさい。

⑦ 入院47日目の処置について、適切なものに○、不適切なものに×、をいれなさい。

(1) クーリングを行った。 (　　)
(2) 速やかに、抗精神病薬を中止した。 (　　)
(3) ダントロレンを投与した。 (　　)
(4) 補液を行った。 (　　)
(5) アミトリプチリンを投与した。 (　　)

VI 以下のある弁護士の意見提起を読んで、回答に答えなさい。

【○○教育大学附属××小学校事件】
数年前、ある教育大学の附属小学校で、小学生や教諭が刃物で刺され、多数の死傷者がでるという事件が発生しました。この事件の犯人は、当初、言動に異常があったことなど（なお、この事件の犯人は、精神障害を装った可能性があるとの報道があります）から、精神障害者による重大犯罪に対処する法的整備が話題にのぼり、政府は、小泉総理大臣からの「刑法も決して聖域ではない。」との指示を受け、重大な犯罪行為をした精神障害者の処遇やシステムの在り方をめぐり、検討を急いでいます。
精神障害者とはいえ、重大事件を起こしながら、短期の治療で社会に出していいのかという疑問は当然のことでしょう。また、確かに、そういう人達をどのように処遇すべきか、あるいは、被害の予防方法を再検討することは、必要だと思われます。
しかし、だからといって、患者を閉じ込めるだけの収容所は人権上の問題があると思います。

① わが国の精神医療に関する規定を定めている基本となる法律の名称をのべなさい。

② その法律の規定では、患者本人の同意がない場合の入院形態は4つあるが、
強制的な入院が安易に行われることがないよう、さまざまな制約が規定されている。
緊急措置入院を例にあげて、その制約の具体的な内容と、それらの運用上の問題点について説明しなさい。

Ⅶ 精神医学研究についての設問に答えなさい。
統合失調症の発症における遺伝素因の関与について、過去にどのような研究が行われ、それにより、どのように遺伝素因の存在が証明されているか、あなたが知っていることを説明しなさい。